

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

一人に足りる秋茄子ぶらぶら二本の枝ぶり 生山 渡辺 圭子

稲刈りに鳥達静かに落穂待つ 宝谷 長尾 智恵

秋の七草数えたり歩く道辺にすすきの穂 茶屋 小林 道子

風固く南天の実が色づく晩秋の入り 茶屋 藤原 寿郎

便りが無いのは元気の証と異国の子を思う 茶屋 長谷川由美子

俳句

駄句駄句会編集室

朝寒や振り返す手のあたたかさ

萩原 岡本 健三

送り荷に庭の熟柿に葉もそえむ

宮内 木村萬佐子

コスモスの遊んでいるや風にゆれ

宮内 田邊登志美

雨うたれ弾けるばかり椿の実

宮内 船越 裕子

肩に舞う昭和百年逝くもみじ

矢戸 和田 淑子

ぐりぐりの大丹波見た穴惑い

菅沢 秦 節

夜空澄みしげみに虫のにぎやかさ

神戸上 笹間 玲子

月も出て雅楽に酔いて時わすれ

下石見 矢田貝 元

短歌

世の動き生きる知恵まで満載の 町報「にちなん」まこと重宝

木枯らしや木の葉舞い散るハイロード ちようちよの如くひらりひらりと

湯河 山田 司郎
下石見 浅川 三郎

何時迄も若さを保つ秘訣あり 心の若さ生きてく限り

下石見 浅川 三郎

寒き日に山路の落葉踏みしめて 風の誘うノルディックウオーク

上石見 福田 輝之

雪降に歳神様をお迎えの 今年で最後の門松作り

上石見 福田 輝之

知らぬ間に花咲かババアとなりまして 障子に花はお手のもの

下石見 佐伯みずす

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

12月の日程

7日(日)14時～15時30分
場所 文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里(08030529933)
浅野 博美(09097341887)

「忘年会」



忘れる
こめかみの横から握った右手を上げながらパッと開く



年
左手をグーにして立て左手の親指側に右手の人差し指を下ろしてあてる



会
両手の指を伸ばして指先を斜めに向かい合わせる漢字の会の形を作って両手を同時に下ろす



「大掃除」
両手でほうきを持って掃く仕草をする

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」